

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 23 年 1 月 19 日(水)	開催時刻	9 時 30 分から 12 時 00 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 22 年度第 10 回)		
出席者	田中会長、宮島副会長、荒井委員、荒木委員、石井孝二委員、石井信子委員、上原委員、木内委員、清水委員、竹田委員、西川委員、西沢委員、堀内委員、宮崎委員、山浦健太郎委員、山浦正嗣委員 (欠席委員)石坂委員、岩木委員、金井委員、玉井委員 (事務局)山崎まちづくり協働課地域振興政策幹、 林まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査		
会議次第			
1 開会(山崎まちづくり協働課地域振興政策幹)			
2 会長あいさつ あけましておめでとうございます。前回の地域協議会で、地域まちづくり方針の 7 項目について、城南地域の実状の説明があった。本日の分科会のなかで終結させたいと考えている。また、城南地域協議会だより 2 号がお手元に届いていると思うが、みなさんの意見を集約し、このような内容に仕上がっている。よろしく願いたい。			
3 会議事項			
(1)「地域まちづくり方針」の見直しの検討について			
資料:「上田城南地域 地域まちづくり方針の見直し検討」 「文化財」 「一般交通量調査(道路交通センサス)」 「過去 5 年間の地域協議会単位の増減」 「過去 5 年間の地区自治連区域単位の増減」			
より事務局から説明			
分科会の開催			
【各分科会ごとの発表】			
第 1 分科会: 「上田道と川の駅」を活用した地域振興と地域防災拠点づくり			
・見直し案は概ねこれでいいが、多くの利用者が道の駅のイメージから求めるものは、色々なものを買い求める場が存在することだ。それに対してこの施設は、一般的に			

求められる機能が果たせない状況になっているので、まちづくり方針の中に、「広域的な交流拠点となる『上田 道と川の駅』の賑わいの創出と、必要な施設整備を推進します。」と入れて欲しい。賑わいを創出するためにさらに必要な施設を整備するという意味で。地域協議会としても、今後そういった提言をしていく方向で協議していただけたらと思う。

- ・持続可能な地域づくりの推進をするための拠点という意味で、「調和した拠点とし持続可能な地域づくりを推進します。」もしくは、「推進するために寄与します。」に変えたい。

第2分科会： 人や自然にやさしい交通機能の整備

- ・一般交通量調査の資料をいただいたが、観測地点がはっきりわからないということで、現時点の資料では交通量が増加していることが断定できないので、「交通量の増加が見込まれます。」に変更したい。

第3分科会： 地域で子どもを育てるまちづくり

- ・場の提供で、悩み事を相談する場所が必要ではないか。これを民と官とで推進していく方向の文面に見直していただきたい。地域のまちづくりは市民も協働でいかないと難しい。
- ・家庭の問題で、壊れてしまった家族の再生、これは必要だ。家庭と社会と学校、三位一体にならなければ、難しいと思う。社会教育として、今後取り組んでいていただきたい。

第4分科会： 自然との共生を目指す里山と農地の保全

歴史的・地域的資源の保全と活用

- ・の見直し案で、「半過山」のところを「半過岩鼻などの」に直していただきたい。後の文言はこれでいい。後半の部分だが、遊休をはずし、「荒廃地の有効活用を図り、」にしたい。
- ・の見直し案の後半のところ、「これら貴重な遺産「地域の宝」に触れる機会をつくることで、大人も子供も郷土に誇りを持ち、いきいき生活できる地域を目指します。」というようにわかりやすい言葉にしたい。

【主な質疑等】

委員：道と川の駅について、現在地元の方々が熱心に進められて、食堂や売店が出されているが、遠方から上田に来て、真っ先に入った上田道の駅の食事としてどうかという話も聞く。まだ始まったばかりだが、そのような意見について、改善するよう検討されているのかどうか。

第1分科会：今、食堂や物販を行っているところは、条例的に創造館と同じものが適用されていて、貸し館業務になっている。交流センターとして、市民誰もが休める場所として開放されている。農協・商工会議所・地元の自治会・大学の先生・地域で活動してきたお母さん方など、いろいろな方々にお声がけをして道と川の駅整備連絡協議会をつくった。完成した施設に対する苦情が多く、市でも何か飲食・物販が出来ないかという話が出た。昨年7月末に経営会議の中で、連絡協議会が使用許可の要望をし、その内容が了解され、営業を開始した。地域のお母さん方は毎日のように意見を言われ、苦情も受けている。地元の自治会でも新しい建物を要望し、市の担当課でも検討中である。

委員：今の説明でよくわかった。心配なのは、来訪者に仮設ということはわからない。もう少し考えて、反省点を吸い上げるような機関として何か検討していただくと必要があるのではないかと感じた。

第1分科会：受ける機関としては道と川の駅整備連絡協議会になる。

委員：今の問題は地域協議会のテーマとして論じて次の提言をしていくべきだと思う。

委員：この地域で子供を育てるまちづくりの見直し案については、変更はないと理解していいのか。検討の内容はいくつかあるが、文言の中には取り入れずにそのままでもいいということか。

第3分科会：「場」の提供というところの文言を直していただきたい。次の欄の「家庭」という欄も、三位一体の再生を図るという文言を付け加えていただきたいと説明があった。

第3分科会：このところに「城南公民館を、地域住民の主体的な活動を支援する」と公民館の名前が出てくる。社会教育の場の1つが公民館だという文言を付け加えてもらえればいいと思う。

会長：文章としては決めていないということでもいいか。事務局と相談しながら決めていただきたい。

(2) 分科会の設置について

【主な質疑】

委員：分科会は残したい。今後、再度協議を尽くしてテーマを絞り、必要な数を決めればいいと思う。分科会で協議したことを全体で発表して、情報の共有化を図る。分科会の活動が活発であれば、踏み込んだ協議が出来るのではないかと。

委員：1案として、今回の班でいい討論が出来たので、出来ればこのグループでやっていただけるとありがたい。交通関係のことで1つは分科会が欲しい。

委員：継続性があるので、今のメンバーだと段取りもわかっているので、いいと思う。

会長：では、全体の総意として分科会を設置することで了解いただいた。今回のまち

づくり方針を検討したグループを母体として考えていくという提案があった。テーマについてはどのようにしていくか。

委員：「道と川の駅」をテーマに加えていただきたい。もう1つは、そこにまつわる循環バスについても検討してみたいが、他の分科会とも絡むと思う。他の分科会との合同協議の場を定期的に設けていただき、その中で出てきた重要案件を提言書としてまとめていくという流れがいいのではないか。地域交通、家族関係、文化財・自然環境などのテーマでどうか。

会長：他のテーマについてはどうか。

委員：里山整備があるが、これをテーマに入れても焦点がぼやけてしまっていて何をしたいのか分からない。歴史資源活用だけではいけないか。

委員：里山というのはとても大事なところで、熊が出没する等の問題があるが、里山があれば出てこなくなる。どのように展開していくかは別にして、テーマとして入れておいたほうがいいのではないか。

会長：アリオが開店をする。それに対して駅前のイトーヨーカドーが同時に閉店する。このことに中心市街地の方はたいへんな危機感を感じている。城南エリアもアリオの出店により、いろいろな影響を直接受けることがある。交通の部分は大きく変わると思う。地域協議会の中でも関心を持って協議をしていきたい。

委員：各グループでもっとテーマを絞り込んだ方がいいと思う。我々の出来ることを検討したうえでスタートした方がいい。

事務局：今後、まちづくり方針を大きく4つに分ける中で、それぞれの分科会で協議していただく中身については、さらに詰めていただきテーマを具体的にしていきたい。

会長：次回皆さんの関心のあるテーマをお聞かせいただきたい。城南公民館については23年度事業で進められるので、次に運営に関して協議していきたい。道と川の駅についても、売店や無料休憩所という部分をベースに、半過地域の観光や産業に発展させたいという気持ちがある。半過地域で、映画村の話も出始めている。上田市の景観を生かしたロケ地という、今までの歴史もある。それをより産業に結び付けようというお話が地元の皆さんからあった。角度を変えながら分科会の中のテーマにしていきたい。次回皆さんのお考えをまとめてご発言いただきたい。

委員：分科会で協議し、それを報告して終わりというのではなく、その中から全体で協議し、意見書にまとめたいテーマもあると思う。検討してまいりたい。

(3) その他

- ・城南公民館新築について
- ・わがまち魅力アップ応援事業について

4 連絡事項等

次回会議開催について

平成 23 年度 2 月 16 日（水） 開催予定

閉 会